



# やまとしうるはし

2009年4月2日(木) ▶ 6月9日(火)

休館日 6月3日(水)

春の芽ばえ、夏の茂り、秋のよそおい、冬の清浄—そうした自然の流転の相(すがた)を眺めて、人間の生と死の宿命を、またその喜びと悲しみを、私ども日本人は、すでに仏教渡来以前からはだに感じていたのではないのでしょうか。そしてその感情は、そののちのいかなる時代の日本人の心にも受けつがれてきているように考えられます。きざみこまれているように思えるのです。そしてそれが日本の独自の文化を産む大きな要素となっていると思われてなりません。美の問題は風土ときりはなして考えることは絶対にできないと考えられるからです。

東山魁夷「やまとしうるはし」(『日本の美を求めて』1976年 講談社)

No.	作品名	制作年	分類	取材地
本制作				
1	牡丹図	1927	本制作	東京都 下落合
2	春兆	1982	本制作	デンマーク コペンハーゲン
3	秋思	1988	本制作	奈良県 天理市
4	沼	1993	本制作	長野県 戸隠
初期のスケッチ				
5	ワイマールにて	1933~ 1935	スケッチ	ドイツ ワイマール
6	レーダー門	1933~ 1935	スケッチ	ドイツ ローテンブルク
7	ジュネーヴの街角	1933~ 1935	スケッチ	スイス ジュネーブ
8	長野の家	1940~ 1945	スケッチ	長野市
9	雨の日	1940~ 1945	スケッチ	
10	夏の日	1940~ 1945	スケッチ	
北歐風景				
11	ベルゲンの家	1962	スケッチ	ノルウェー ベルゲン
12	ノルウェーの春	1962	スケッチ	ノルウェー ウルヴィック
13	運河沿いの街	1962	スケッチ	デンマーク コペンハーゲン
14	倉庫	1962	スケッチ	デンマーク コペンハーゲン
京洛四季				
15	春静	1964~ 1966	習作	京都府 鷹ヶ峰
16	行く春	1964~ 1966	習作	京都府 祇王寺
17	曙	1964~ 1966	習作	京都府 比叡山
18	花明り	1964~ 1966	習作	京都府 円山公園
19	京の民家	1964~ 1966	スケッチ	京都市 伏見
20	壬生狂言	1964~ 1966	スケッチ	京都府 壬生寺
21	古道具屋	1964~ 1966	スケッチ	京都市 西陣
大和春秋				

22	朝の塔	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 興福寺
23	吉野の春	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 吉野
24	春日野朝霧	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 春日野
25	古陵薄明	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 箸墓
26	室生の塔	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 室生寺
27	夕べの塔	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 興福寺
28	松と月	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 御蓋山
29	布留の森	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 天理市
30	唐招提寺月明	1973~ 1985	スケッチ	奈良県 唐招提寺
31	赤日晩秋	1973~ 1985	スケッチ	三重県 名張市
32	柿の木と白壁の家	1973~ 1985	習作	奈良県 奈良市
33	酒造りの家	1973~ 1985	習作	奈良県 三輪山
34	雪の春日野	1973~ 1985	習作	奈良県 春日野
35	室生暮雪	1973~ 1985	習作	奈良県 室生寺
ドイツ・オーストリアの旅				
36	古道具屋の窓	1969	スケッチ	ドイツ
37	ホルシュテン門の窓	1969	スケッチ	ドイツ リューベック
38	町角	1969	スケッチ	ドイツ
39	リュウデスハイムにて	1969	スケッチ	ドイツ リュウデスハイム
40	人形芝居の小屋	1969	スケッチ	ドイツ ローテンブルク
41	夕かげ	1969	スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
42	ティロルの窓	1969	スケッチ	オーストリア ティロル
43	塔の影	1969	スケッチ	ドイツ
44	優雅な窓	1969	スケッチ	
45	ホテルドイチェスハウス	1969	スケッチ	ドイツ ディンケルスビュール
古都を描く				
46	霧の町	1969	習作	ドイツ リューベック

47	ツェレの家	1969	習作	ドイツ ツェレ
48	石の窓	1969	習作	ドイツ ネルトリンゲン
49	静かな町	1969	習作	ドイツ ヴィムブヘン
50	狭い空	1969	習作	ドイツ バンベルク
51	赤い屋根	1969	習作	ドイツ ローテンブルク
52	泉	1969	習作	ドイツ ローテンブルク
連作“白い馬の見える風景”				
53	春を呼ぶ丘	1972	習作	北海道
54	草青む	1972	習作	デンマーク ヒレロード
55	緑響く	1972	習作	長野県 茅野市 蓼科高原
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 日本の風景				
56	深い谿	1973	スケッチ	
57	霧深き谷	1973	スケッチ	
58	朝雲	1973	スケッチ	
59	深山の樹	1973	スケッチ	
唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 中国の風景				
60	北京新緑	1976	スケッチ	中国 北京市
61	長城に登る	1976	スケッチ	中国
62	万山水明	1976	スケッチ	中国
63	陽朔奇観	1976	スケッチ	中国 桂林
64	天山遥か	1977	スケッチ	中国 ウルムチ
65	草原放牧	1977	スケッチ	中国 イーニン
66	パオの子供	1977	スケッチ	中国
67	帰路につく人々	1977	スケッチ	中国 イーニン
68	廢墟の幻想 C	1977	スケッチ	中国 トルファン
69	家路	1977	スケッチ	中国 ホータン
本制作ができるまで				

70	春兆 小下図 A	1982	小下図	デンマーク コペンハーゲン
71	春兆 小下図 B	1982	小下図	デンマーク コペンハーゲン
72	道 スケッチ A	1950	スケッチ	青森県 種差海岸
73	道 スケッチ B	1950	スケッチ	青森県 種差海岸
74	道 スケッチ C	1950	スケッチ	青森県 種差海岸
75	道 スケッチ D	1950	スケッチ	青森県 種差海岸
76	道 スケッチ E	1950	スケッチ	青森県 種差海岸
77	道 小下図	1950	小下図	青森県 種差海岸
78	道 大下図	1950	大下図	青森県 種差海岸
79	道 新復刻画	2006	複製画	青森県 種差海岸
カット・デザイン等				
80	雑誌「新潮」 1月号表紙	1955	表紙原画	
81	雑誌「新潮」 2月号表紙	1955	表紙原画	
82	雑誌「新潮」 3月号表紙	1955	表紙原画	
83	雑誌「新潮」 4月号表紙	1955	表紙原画	
84	雑誌「新潮」 5月号表紙	1955	表紙原画	
85	雑誌「新潮」 6月号表紙	1955	表紙原画	
86	雑誌「新潮」 7月号表紙	1955	表紙原画	
87	雑誌「新潮」 8月号表紙	1955	表紙原画	
88	雑誌「新潮」 10月号表紙	1955	表紙原画	
89	雑誌「新潮」 11月号表紙	1955	表紙原画	
90	金太郎		色紙	
91	草花手習帖 上 画帖	1938	画帖	
ピエゾグラフによる代表作				
92	白馬の森		ピエゾグラフ	山梨県 富士山五合目のブナ原生林
93	黄山雨過		ピエゾグラフ	中国 黄山
94	夕静寂		ピエゾグラフ	長野一岐早県奥穂高

\* 展示作品は都合により変更となる場合があります。

#### ピエゾグラフとは

ピエゾグラフは、セイコーエプソン(株)のインクジェットプリント技術の総称で、再現性の高さと繊細な仕上がりが特徴です。原画の表面の凹凸や陰影、絵具の重なりまで再現可能です。

日本画は特に保存が難しい美術作品です。長野県信濃美術館・東山魁夷館の東山作品も将来に遺すために公開期間を年約2ヶ月間に制限しています。一年をとおして東山魁夷の代表作をお楽しみいただくため、当館では東山すみ夫人監修のもと、セイコーエプソン(株)のご協力により、ピエゾグラフ作品をご寄贈いただきました。

※ピエゾグラフおよびエプソンピエゾグラフは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

#### 東山魁夷 略歴

明治41(1908)年横浜に生まれ、3歳のとき神戸にうつる。東京美術学校日本画科を卒業。昭和8(1933)年ドイツに留学。日展に出品をつづけ、22(1947)年特選受賞。31(1956)年日本芸術院賞受賞。40(1965)年日本芸術院会員となる。44(1969)年文化勲章受章。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等を制作。平成11(1999)年5月6日逝去。享年90歳。

#### 東山魁夷館

東山魁夷は信州について、東京美術学校の学生時代から、信州へのスケッチ旅行を重ね、「わたしの作品を育ててくれた故郷」と呼んでいました。平成2(1990)年、長野県に家蔵の本制作、スケッチ、習作、下図等が寄贈され、長野県信濃美術館に併設して東山魁夷館が開館しました(収蔵作品数は現在約960点)。

#### 作品の分類について

「本制作」：主に展覧会への出品を前提に描かれたもので、当館収蔵の作品は1970年代から晩年にいたる作品が中心となっています。

「スケッチ」「習作」：東山魁夷自身による分類で、スケッチが实景の写生であるのに対し、習作は構図や色彩に作者なりの解釈をほどこしたもので、内容的には本制作に一步近づいたものといえるでしょう。